

ちば2007年アクションプラン(案)の状況

(単位：百万円)

分野	番号	施策名	平成19年度 当初予算
【戦略プロジェクト】	戦1	千葉新産業振興戦略の推進による千葉県経済の活性化	2,930
	戦2	観光立県千葉の実現	1,086
	戦3	日本一の安心農林水産物「千葉ブランド」の確立	442
	戦4	中小企業元気戦略の推進	419
	戦5	県民一人ひとりのしあわせを支える健康づくり・医療体制の構築	504
	戦6	安全・安心な生活空間づくり	247
	戦7	みんなでつくる新しい地域社会	316
	戦8	国際化時代の千葉県の確立	55
市町村への支援	1	分権型社会を支える市町村への総合的支援	2,228
次世代育成支援	2	次世代育成支援対策の推進	35,318
男女共同参画の推進	3	男女共同参画社会の実現	221
NPO	4	NPO立県千葉の実現	66
文化	5	ちば文化の創造に向けて	88
情報化	6	便利で活力ある社会に向けたIT利活用の推進	750
保健・医療・福祉	7	「新たな地域福祉像」の実現に向けた基盤整備	538
	8	地域・家庭に重点を置いた生活(自立)支援	1,237
	9	自らつくる健康と安心を育む医療	1,686
	10	一人の人間としての尊厳の確保	157
教育	11	個性が輝く教育の推進	1,849
	12	心と体の教育と健やかな青少年をはぐくむ環境づくり	857
県民生活の安全	13	防災体制の強化と災害に強い県づくり	9,908
	14	生活者としての県民の安全・安心の確保と体制整備	2,141
	15	交通安全県ちばの確立	3,161
まちづくり・基盤整備	16	活力ある県土の基盤づくり	61,882
	17	豊かなくらしと環境を創造する県土の基盤づくり	32,637
環境	18	豊かな環境の保全と再生	3,054
	19	資源循環型社会づくりの推進	113
	20	廃棄物の適正処理対策	402
	21	残土対策の推進	0
	22	三番瀬の再生	679
森林の保全と活用	23	森林の保全と総合利用	1,590
雇用	24	産業社会を支える就業支援と人材育成	669
農林水産業の新たな展開	25	国際化に対応した力強い農業の展開	11,291
	26	たくましい千葉県水産業の展開	3,523
「成田」「東葛飾北部地区」「幕張」「かずさ」等の整備	27	成田空港の機能拡充と国際空港都市づくり	7,301
	28	つくばエクスプレス沿線の大学と地域の連携による国際学園都市と産業拠点の形成	0
	29	複合機能都市「幕張新都心」の形成	24
	30	サイエンス・パーク「かずさ」の国際的地位の確立	588
経営革新等	31	県庁経営システムの質的転換	0
	32	県内外への効果的・戦略的な広報とひらかれた県政運営	658
		計	190,615

特別会計・企業会計に係る予算額及び複数の施策に係る事業の再掲分は含まない。

8つの戦略プロジェクトの展開

1 千葉新産業振興戦略の推進による千葉県経済の活性化

〔1〕ネットワーク機能の強化による研究開発・実用化の促進

千葉新産業振興戦略推進事業 47百万円（ 54百万円）

国際競争力のある産業の強化と地域資源を活用した産業の活性化を実現するために、バイオ、ものづくり、環境、ITなどの重点産業7分野の戦略的な展開を促進するプロジェクト・コーディネーターの配置や、産学官連携による研究会・推進会議などを利用してネットワーク機能を強化していきます。

千葉県・東京大学かずさ国際地球環境研究拠点形成プロジェクト事業【新規】

20百万円

新産業創出拠点であるかずさアカデミアパークでの環境・バイオの新たな国際的研究拠点形成を図るため、東京大学とかずさDNA研究所が、植物のゲノム情報を活用した育種活性化など、地球環境とバイオテクノロジーの融合領域の共同研究プロジェクトを実施します。また、東京大学が千葉県で構想している環境実験施設「バイオーム」の整備促進を含む国際地球環境研究拠点形成プロジェクト推進のための産学官連携の組織を設置します。

かずさDNA研究所実用化研究推進事業 83百万円（ 97百万円）

「かずさバイオ共同研究開発センター」において、かずさDNA研究所の研究成果を活用し、県内外の大学等とともに応用研究に取り組み、産業化・実用化を目指します。

新エネルギー産業振興事業 10百万円（ 6百万円）

新エネルギー産業の集積促進を図るため、産学官連携による推進組織の運営や、新エネルギー技術開発等における実証研究への助成を行います。

千葉県ものづくりネットワーク構築事業【新規】 2百万円

本県ものづくり産業の保有する金型、切削、めっき、プレス加工など高い技術力を紹介するホームページ「千葉県ものづくりネットワーク」を構築することにより、新たなビジネスチャンスの創造、企業間での技術連携や市場開拓ニーズに対応します。

〔 2 〕 産業クラスター形成の担い手である中小・ベンチャー企業の支援

地域資源ブランド化総合推進事業【新規】 25 百万円

県内の魅力ある地域資源を活かした製品について、消費者・流通業者側の視点に立って潜在的な価値を発掘・評価し、加工・改良等により付加価値を高めるとともに、プロモーション等を集中的・戦略的に行うことによって、全国ブランド化を早期に実現し、もって県産品の販売向上を図ります。

ニューマーケット開拓支援事業 10 百万円（ 14 百万円）

新たな販売先の開拓や顧客ニーズを自社の製品や技術に反映したいと考える県内の中小企業及びベンチャー企業を対象に、市場ニーズの把握や商品企画力、販路開拓等について支援し、中小企業及びベンチャー企業の育成・発展を図ります。

ビジネスプロモーションちば開催事業 6 百万円（ 8 百万円）

県内中小・ベンチャー企業、下請中小企業の営業・販売や受発注取引を促進するため、県内中小企業の製品・技術を県内外の商社やメーカー、発注企業に広く紹介する商談会を開催し、新たな取引ネットワーク形成の促進を図ります。

ものづくり技術高度化支援研修事業【新規】 1 百万円

ものづくり現場における技術・技能の継承を支援するため、産業支援技術研究所が、企業の中堅・若手職員を対象とした高度な技能研修を実施します。

〔 3 〕 戦略的な企業誘致の推進

工業導入促進事業（立地企業補助金） 8 億 18 百万円（ 8 億 41 百万円）

県内への企業立地を促進し、経済の活性化と雇用の確保を図るため、立地企業に対する助成を行い、戦略的な企業誘致を推進します。

工業用地創出事業【新規】 10 百万円

県内の遊休地情報を収集し、工業用地、特に大規模工業用地としての可能性を有する土地を選定し、その情報を今後の企業誘致活動につなげていきます。

外資系企業オフィス等賃料補助事業【新規】

6百万円

県内への外資系企業の新規進出・本社等の移転を促進するため、外資系企業が県内へ立地した場合に、事務所・工場・研究所等の賃料を補助します。

〔４〕産業クラスターの形成・発展を支える人づくり

ちば若者キャリアセンター（ジョブカフェちば）管理運営事業

57百万円（ 46百万円）

次代を担う産業人材の確保・育成のため、産業、雇用及び教育の政策分野が連携を図りながら、雇用のミスマッチの解消を目的とした若者の就業支援及び地元企業の採用活動支援を進めるジョブカフェちばの運営を行います。

ちば若者キャリアセンター（ジョブカフェちば）によるフリーター等を対象とした人材育成事業【新規】

21百万円

ジョブカフェちばで構築したカウンセリングやセミナーのノウハウを活用し、フリーター等を対象に、産業クラスター形成・発展を支える産業人材を育成するカリキュラムの開発・活用を推進します。

2 観光立県千葉の実現

〔1〕総合的な視点から取り組む21世紀型の観光基盤づくり

房総のむらにおける江戸時代風景の再現事業 1億20百万円(1億50百万円)
国内外からの集客力の向上と、地域文化の振興の充実を図るため、堀割、家屋等について本物志向の施設改修を行い、江戸時代の房総風景の再現を図ります。

〔2〕多彩な資源に包まれた新しい観光空間づくり

観光地域ブラッシュアップ・ブランディング事業【新規】 19百万円
地域の持つ観光資源のより一層の魅力向上や周辺市町村との連携を進めることによりブランド化を目指している地域に対して、専門家をアドバイザーとして派遣するほか、ブランド化の強化のためのハード・ソフト事業への支援を実施します。

新観光資源創出事業 23百万円(25百万円)
映画・ドラマのロケ地に着目したフィルムツーリズムの推進、県内の歴史・文化や都市・産業など、新たな観光資源としての活用方策を検討するとともに、多様なニーズに対応した観光地形成を図ります。

参加体験型観光推進事業 10百万円(14百万円)
自然体験活動のリーダー、地域コーディネーターの養成など受け入れ体制の充実を図るとともに、自然学校を紹介するパンフレット等を作成し、集客促進を図ります。

「グリーン・ブルーツーリズム in ちば」推進事業【新規】 4百万円
都市と農山漁村の交流を促進し、千葉県型のグリーン・ブルーツーリズムの定着を図るため、モデル地域づくりを支援するとともに、都市住民との交流拠点である農林水産物直売所のネットワーク化を図ります。

「千葉の海」丸ごと満喫事業 2 百万円（ 4 百万円）
デスティネーションキャンペーンで掘り起こされた新たな観光資源を活用しながら、ブルーツーリズムの核となる水産物直売所と連携した P R を行い、都市と漁村との交流を推進します。

エコツーリズム推進事業 4 百万円（ 5 百万円）
地域における自主的なエコツーリズムに向けた取組みを支援するため、地域資源の活用からエコツアーの実施までのモデル事業を実施し、その課題・成果を情報提供します。

〔 3 〕 戦略的プロモーション活動の展開

観光ちば全国発信事業 1 億 22 百万円（ 1 億 78 百万円）
平成 1 9 年 2 月から 4 月に実施する「ちばデスティネーションキャンペーン（ D C ）」を契機とした全県的な観光への盛り上げりを発展させ、更に多くの観光客の誘致を図るための積極的な P R 活動を行うとともに、本県観光の新たな魅力を情報発信します。

〔 4 〕 新たな観光産業の創出などによる地域経済の活性化

観光人材育成支援事業 11 百万円（ 14 百万円）
地域の観光地づくりを担うリーダー、地域の紹介にとどまらず地域づくりにも貢献できる観光ボランティアガイド及び観光産業の創業や経営革新を目指す経営者等を対象とした人材育成のための各種講座等を開催します。

観光立県総合推進事業 5 百万円（ 9 百万円）
地域住民、 N P O、自治体等が連携協力して、観光振興に取り組むため、観光立県ちば推進協議会を運営します。また、観光立県ちば推進協議会などからの提言・意見を踏まえ機動的な施策展開を図るため、関係機関等との密接な連携・協力のもと、施策の実効性・実現可能性に係る調査分析や実証実験等を行い、観光立県千葉の実現に向けた方策の検討を進めます。

〔 5 〕 観光面における国際的地位の確立

外国人観光客向けプロモーション事業 33 百万円 (31 百万円)

訪日外客数が多く、プロモーション効果の高い東アジア 3 国 (台湾、韓国、中国) を重点的外客誘致対象国として、プロモーションを行い、県内の旅行商品の造成及び本県観光の認知度の向上を目指します。

外国人観光客受入体制整備事業 19 百万円 (32 百万円)

「外客来訪促進計画」に基づき、観光ルネサンス補助制度について市町村、民間組織への周知を図るとともに、通訳案内士等の活用、成田空港周辺の受入体制整備を行うことにより、外国人観光客の利便性の向上を図り、本県への外国人観光客の増加を図ります。

3 日本一の安心農林水産物「千葉ブランド」の確立

〔1〕新鮮で高収益を得るための販売戦略の展開と千産千消、千産全消の推進

農林水産物ブランド化総合推進事業【新規】 50 百万円

県内の農林水産物やその加工品など魅力ある地域資源について、消費者・流通業者側の視点に立って潜在的な価値を発掘・評価し、加工・改良等により付加価値を高めるとともに、プロモーション等を集中的・戦略的に行うことによって、全国ブランド化を早期に実現し、もって県産品の販売向上を図ります。

県産農産物生産販売推進事業 24 百万円（ 39 百万円）

県と生産者団体等が一体となって、農産物の生産販売促進策を検討するとともにセールスプロモーション活動を展開し、県産農産物の販売促進に取り組みます。

また、首都圏マーケティングセンターで消費者・実需者ニーズを捉え、首都圏における販売促進活動や売れる農産物の産地づくりを戦略的に展開します。

県産豚ブランド化推進事業【新規】 6 百万円

県産豚肉の有利販売・販路拡大を図るため、生産者や販売者等で構成する「県産豚肉販売戦略協議会（仮称）」を設置するとともに、養豚農家が共同で実施するブランド豚の創出のための取組みを支援します。

千産千消ネットワーク推進事業 11 百万円（ 16 百万円）

県内産地、市場、集配送センター、青果加工センター、食品関連産業等間の情報機能の連携強化を図り、県産農産物の販売促進はもとより、流通の効率化、実需者ニーズに沿った県内産地の育成等を図ります。

また、ホームページ「教えてちばの恵み」により、県産農林水産物の生産販売情報を提供します。

千葉県植木の輸出支援技術の開発促進事業【新規】 3 百万円

造形樹は、欧米では需要が高まりつつあり、ヨーロッパへは既に土付き株の状態です。輸出されていますが、販路拡大先として期待される中国やアメリカは、土付き株の輸入が禁止されています。そこで、代替土や資材等、土を使わずに長期輸送を行える技術を開発し、海外での販路拡大を図ります。

水産物輸出促進対策事業【新規】

1 百万円

県産水産物の輸出促進を図るため、「千葉県水産物輸出検討会」を立ち上げ、海外向けのPRや販路開拓を検討するとともに、漁協等が行う海外見本市への出展やテスト輸出を支援します。

〔2〕千葉ブランド、安心な「ちばエコ農産物」などの生産拡大による所得の向上

「ちばエコ農業」産地拡大スピードアップ支援事業 31 百万円(34 百万円)

「ちばエコ農業」の産地及び品目拡大のスピードアップを図るため、生産技術の確立と普及定着を推進するとともに、減農薬・減化学肥料栽培に資する効果の高い生産資材や機器類の整備を支援します。また、産地育成や販売促進をサポートする産地アドバイザーの設置等を行います。

ちばのオリジナルブランド産地づくり支援事業 15 百万円(20 百万円)

「美味しい食材」を実需者・消費者に提案・提供することを基本コンセプトに、ニーズ調査や商品開発及び販路開拓など、地域の多様なブランド産地づくりの取り組みを支援します。

アグリビジネス支援普及活動事業 10 百万円(7 百万円)

安定的・発展的なアグリビジネス(加工・流通改善等による高付加価値農業)のシステム構築のため、生産から販売面に至る一貫した支援を行います。

また、ニーズに基づく新品目や新作型の導入など、生産者や関係団体と連携した新たな産地づくりを推進します。

「ふさこがね」生産・販売促進対策事業 17 百万円(19 百万円)

エコ米として期待される中生の新品種「ちば28号(愛称:ふさこがね)」の生産拡大のための研修会や販売促進キャンペーンなどを展開します。

「プロの技」会得研修事業【新規】

4百万円

新規就農希望者に対して、高い生産技術・経営能力と指導力を持ったプロ農業者が、自立に必要な生産技術や農村習慣、就農初期の栽培計画づくりなどの研修をマンツーマンで実施することにより、円滑な就農を支援します。

新規漁業者確保定着支援事業

4百万円（ 3百万円）

高校生等に対する水産業インターンシップ及び新規就業希望者等に対する短期漁業技術研修を実施します。さらに、高い技術を持つ漁業者を師匠とし、マンツーマンによる定着支援を行うことで、新規漁業者の円滑な就業を図ります。

ニュー・フォレスター養成事業【新規】

1百万円

林業後継者や林業事業体の就労者に対して、新たな時代に即応した林業経営や森林計画に関する研修を総合的に実施し、森林の持つ公益的機能を重視した持続的な森林整備や計画的な森林管理の担い手となる人材を育成します。

企業等農業参入支援促進事業【新規】

18百万円

今後、地域農業の担い手として期待できる企業等の農業参入を促進するため、参入法人が行う機械・施設の整備などに対して支援を行います。

農林水産業と食品産業との連携推進事業

12百万円（ 9百万円）

県産農林水産物の需要拡大、食品産業の競争力強化、食農連携による地域の活性化を図るため、生産・出荷団体や食品製造・流通業者、学識経験者、消費者等で構成する、ちばの「食」産業連絡協議会の運営や、見本市・商談会の開催、販路開拓、地域ブランドの開発などを推進します。

輸入野菜のシェアを奪還し、千産千消・千産全消を支援する業務用野菜の開発促進事業【新規】

4百万円

食の外部化の進展により、野菜の需要も業務用の比率が増えています。そこで、県内の主要な野菜について、外食・中食産業や加工品・加工食品の原料向けに、用途別の特性を明らかにするとともに用途に適した品種の選抜を行い、需要の確保を図ります。

〔 3 〕 新鮮でおいしい千葉のさかなのブランド化

地魚一番 in 千葉事業

11 百万円 (10 百万円)

千葉のさかなのブランド力強化、消費拡大に向けて、各種イベント・PR等を行います。また、朝揚げ水産物や千葉ブランド水産物認定品の取扱店を「千葉さかな倶楽部協力店」として登録し、ホームページを活用して情報発信します。

さらに、全国に誇れるブランド水産物づくりを目指して、品質向上等の活動を支援します。

高水温耐性ノリ品種改良事業

15 百万円 (13 百万円)

近年の海水温上昇により、年内に出荷される「新のり」の生産量は減少傾向にあることから、高水温でも養殖可能な品種の改良を行い、生産量の増大を図るとともに、「色よし、味よし、香りよし」で知られる「千葉のり」の評価を更に高めます。

〔 4 〕 食育の推進・生産者と消費者相互の理解と信頼の確立

ちば食育活動促進事業

15 百万円 (17 百万円)

県民一人ひとりが「食」や「農」に対する正しい知識を身につけ、健全な食生活を実現できるよう、学校や地域、家庭における食育を県民運動として推進します。また、小・中学校における食と農の体験学習による食育の実施や、食育基本法に定める県の食育推進計画を作成するとともに、市町村段階の計画作りを推進します。

食品安全推進事業

7 百万円 (8 百万円)

千葉県食品等の安全・安心の確保に関する条例に基づき、消費者や食品関連事業者など、関係者間の情報や意見の交換を行うリスクコミュニケーションを通し、相互理解と共通認識のもと、関係者が一体となった食品の安全・安心の確保・促進を図ります。

4 中小企業元気戦略の推進

〔1〕中小企業の自発的な挑戦を促進

創業・経営革新資金利子補給事業【新規】 38 百万円
創業促進による地域経済の活性化と県内中小企業における経営基盤の一層の強化を図るため、女性や中高年者の創業企業及び経営革新計画を承認した企業に対し、県制度融資を利用した場合、新たに利子補給を実施します。

企画提案型創業セミナー開催事業【新規】 5 百万円
県内各地域において創業を目指す起業家を掘り起こし、創業を促進するために、企画提案方式による創業セミナーを開催します。

経営革新企業販路市場開拓総合支援事業【新規】 6 百万円
経営革新計画の承認を受けた中小企業を対象に、経営革新の成否の重要なポイントである販路開拓を支援するため、ビジネスフェア等の展示会への出展や市場調査実施の費用を一部助成するとともに、講演会等を開催し、新たな企業連携や需要開拓の機会を提供します。

千葉県中小企業支援センター事業費等補助金 3 億 98 百万円(4 億 44 百万円)
中小企業が抱える様々な課題の解決を支援するため、中小企業支援法による本県中小企業支援センターに指定されている(財)千葉県産業振興センターが行う窓口相談や専門家派遣等の中小企業支援事業に対して補助します。

B C P セミナー開催事業【新規】 1 百万円
大規模地震や風水害等の緊急事態において、中核となる事業を継続あるいは早期に復旧させるため、「中小企業 B C P (緊急時企業存続計画)」の普及啓発を図ります。

国際ビジネスマッチング支援事業【新規】 8 百万円
海外展開へ意欲のある企業のデータベース化を進めたビジネスポータルサイトを開設し、企業情報を海外へ発信するとともに、東アジア地域をターゲットとした見本市・商談会への出展補助を行います。

〔 2 〕 多様な地域づくりと中小企業活性化の相乗効果の発揮

中心市街地活性化協議会等設立支援事業【新規】

5 百万円

市町村において「中心市街地活性化協議会」を設立する場合や、商工会・商工会議所等が地域のまちづくりに関する団体や住民等と連携して「まちづくり協議会」を設置する場合に組織設立に向けた取組みを支援します。

元気商店街創出事業【新規】

6 百万円

意欲があり優れたアイデアを持つ商店街が、中小企業診断士等の専門アドバイザーによる集中支援を受け、地域内の合意を形成しながら活性化の実行計画を策定する取組みに対して助成します。

地域貢献ガイドライン策定事業【新規】

1 百万円

大型店は地域への影響が大きい存在であり、地域貢献を行うことが強く期待されることから、その貢献のあり方について県としてガイドラインを策定します。

〔 3 〕 中小企業間、産学官民の連携による取組の促進

千葉県インキュベーション・ネットワーク・フォーラム開催事業【新規】

1 百万円

県内にあるインキュベーション施設との交流により、異業種の連携、中小企業の新たなネットワークの構築により、新技術の創出を図ります。

ロボット技術応用産学官連携事業

5 百万円（ 6 百万円）

県内におけるロボット関連の新事業創出を促進するため、作業ロボットの研究開発を産学官共同で実施します。

〔４〕経営資源の不足する中小企業の経営基盤の強化

中小企業振興融資資金(特別会計中小企業振興融資資金)

融資枠 2,572 億 26 百万円 (2,520 億 53 百万円)

安定的な資金を県内中小企業に供給するため、平成 19 年度から実施する県制度融資の再構築の内容を中小企業に広く周知し、利用の促進を図るとともに、景気の回復基調や金利正常化など環境の変化に対応し、機能的で円滑な中小企業金融の展開を目指します。

千葉ものづくり認定製品のトライアル発注事業【新規】 20 百万円

千葉ものづくり認定製品のうち、県の機関で活用できるものを試験的に購入し、利用者の立場から評価し、PR することで、地元中小企業の販路開拓を支援します。

戦略的 IT 利活用支援事業【新規】 4 百万円

IT を積極的に活用し経営改革を実践しようとする中小企業に対して、IT 利活用の成功事例の紹介や、IT と経営に精通した専門家による訪問指導を行います。

〔５〕中小企業を支える人材の確保、育成

(仮称) ちば仕事プラザネット事業【新規】 18 百万円

少子高齢化や 2007 年問題に起因する人材不足等に対応するため、ちば仕事プラザの相談者を中心とした求職登録システムを創設し、企業のみならず、NPO、農業、福祉等様々な分野に対し、千葉県独自の人材情報を提供します。

中小企業等技能継承・向上支援事業【新規】 9 百万円

主に定年退職した熟練技能者の人材バンクを設置し、技能指導の要望がある中小企業等へ派遣することで、若年技能者の育成を支援します。

また、平成 20 年度に本県で開催される全国障害者技能競技大会及び障害者ワークフェアに向けて、官民協働で準備し、気運の醸成を図り、高い技能を持った障害者が多くいることをアピールし、中小企業の技術力の確保につなげます。

企業の次世代育成支援対策の取組み促進事業 8百万円（ 8百万円）

仕事と子育ての両立できる職場づくりや男性の子育て参加の促進など、男性と女性が共に子どもを生き育てながら当たり前に行えるよう、セミナーや啓発活動により、企業の自主的な取組みの促進を働きかけます。

障害者雇用アドバイザー（企業支援員）事業【新規】 18百万円

企業が障害者を戦力として活用するために、障害者就業・生活支援センター等に障害者雇用アドバイザーを配置し、障害者の職域開拓・就業環境づくりを行う取組みを支援します。

5 県民一人ひとりのしあわせを支える健康づくり・医療体制の構築

〔1〕オーダーメイド型健康づくり・医療の実現

衛生研究所とがんセンター研究局との合築に向けた機能連携事業【新規】

8百万円

総合的な生活習慣病対策を推進するため、衛生研究所とがんセンター研究局を機能統合した共同研究チームを立ち上げ、がん及び生活習慣病の予防と早期発見のための共同研究を実施します。

健康生活コーディネート全県展開推進事業 21百万円（1億7百万円）

一人ひとりの健康状態や生活習慣に応じた、科学的根拠に基づく健康づくりを目指す健康政策「健康生活コーディネート」を県民の健康づくりの仕組みの一つとして定着させるため、市町村等が実施する健康づくりへの「健康生活コーディネートプログラム」の活用を支援します。

健康生活コーディネート認定プログラム制度の創設【新規】 1百万円

質の高い多様な健康づくりプログラムの開発・普及を促進するため、千葉県健康政策「健康生活コーディネート」の理念や方向性に合致し、一定の効果が期待される民間の健康づくりプログラムを「健康生活コーディネート認定プログラム(仮称)」として認定する制度を創設します。

特定保健指導アウトソーシング環境整備事業【新規】 46百万円

医療保険者(市町村・健保組合等)に平成20年度から義務付けられる保健指導が、民間へのアウトソーシングを活用しながら円滑に実施できるよう、「健康生活コーディネート」の理念や方向性に合致した保健指導プログラムを民間ベースにより開発し、実地検証するモデル事業を実施します。また、医療保険者及び保健指導実施希望事業者(受託者)に対して、情報提供や需給ニーズの整合を図ります。

在宅型健康生活コーディネート事業と医療の連携による生活習慣病対策モデル事業【新規】 7百万円

大学等と連携し、糖尿病等の生活習慣病患者を対象に「健康生活コーディネート事業(在宅型)」を活用した治療モデルの実証試験を行います。

介護予防推進サポート事業【新規】

12百万円

効果的な介護予防サービスの提供を促進し、健康生活コーディネート事業との切れ目のない連続した健康づくりの体制を構築するため、平成17年度から18年度に実施した「千葉県型介護予防モデル事業」の成果を活用し、市町村等が実施する介護予防への取組みを支援します。

生活習慣病予防対策のための保健指導強化事業【新規】

4百万円

メタボリックシンドロームの概念を導入した保健指導體制の整備を推進するため、市町村の保健師や管理栄養士などを対象に、効果的・効率的な保健指導のためのパワーアップ研修を実施し、地域における保健指導力を強化します。

健康ちば21推進事業

11百万円（5百万円）

県民の主体的な健康づくりを総合的に推進するため、医療制度改革等を踏まえて、健康ちば21（健康増進計画）の見直しを行い、新健康ちば21を策定するとともに、県民への普及啓発を図ります。また、メタボリックシンドロームの概念を導入した新しい健診・保健指導への理解促進と県民の主体的な健康づくりの意識高揚に向けたキャンペーンを行います。

〔2〕地域の実情に応じた抜本的な医師確保対策

医師確保推進事業【新規】

90百万円

後期臨床研修医を対象として、研修資金の貸与による待遇改善・専門技術や知識の確保・将来の生活設計支援を組み合わせた支援パッケージを提供することにより、地域医療に従事する医師の確保に取り組みます。併せて、市町村の実施する医師確保事業に対する支援、県内の地域病院に医師を派遣している千葉大学と連携した医師確保支援を行います。

千葉県地域医療医師養成事業【新規】

31百万円

千葉県内に付属病院を有する私立大学と県が協力して、地域医療に熱意ある学生に修学資金を貸与することにより、県内自治体病院等に従事する医師の確保に取り組みます。

〔 3 〕 循環型地域医療連携システムの構築

循環型地域医療連携システムの構築を検討する事業【新規】 17 百万円

すべての県民が地域において安心して暮らせるよう、疾病ごと、地域ごとに、医療機関ごとの機能分化と連携、医療と保健との連携を図る「循環型地域医療連携システム」を構築するため、二次医療圏ごとに具体的な検討を行うとともに、モデル事業を実施します。

保健医療福祉の再構築事業【新規】 6百万円

医療制度改革を踏まえ、保健医療福祉の再構築に向けて、本県独自の計画横断型の目標値(基盤・過程・結果)とその達成に向けた取組みを盛り込んだ、保健医療計画及び医療費適正化計画等を策定します。

地域ケア整備構想(仮称)の策定【新規】 1百万円

今後本格化する療養病床の再編成を踏まえ、高齢者が地域において暮らし続けるための基盤となる「地域ケア体制」に係る整備構想を関係者が連携をとりながら策定します。

〔 4 〕 ちば健康福祉複合圏構想(仮称)の実現

ちば健康福祉複合圏構想(仮称)を検討する事業【新規】 1百万円

県民の健康や生活の質の向上を図るため、中長期的には、衛生研究所とがんセンター研究局の両研究機関の機能を統合した「健康福祉総合研究所(仮称)」の整備を進め、近傍にある多数の病院、研究機関等の活用も視野に入れた「ちば健康福祉複合圏構想(仮称)」の実現に向けた検討を行います。

6 安全・安心な生活空間づくり

〔1〕県民一人ひとりの安全安心まちづくりに対する意識の向上

安全安心まちづくり推進事業

7百万円（ 8百万円）

条例や各種防犯指針の普及を図るため、パンフレットや防犯リーフレット等を作成し、街頭キャンペーンにおいて配付するほか、市町村、千葉県安全安心まちづくり推進協議会構成団体等が行う各種の広報活動を通じて普及啓発を推進します。

犯罪発生情報等の提供事業

11百万円（ 11百万円）

県民の自主防犯意識を高めるため、ひったくり、車上ねらい、自動車盗及び侵入盗の4罪種の犯罪発生状況と子どもや女性に対する「声かけ」、「つきまとい」などの不審者情報や犯罪被害情報等を地図情報により公開します。

ワーストからベストへ、付けよう反射材 10万人キャンペーン事業【新規】

6百万円

千葉県の交通事故死者数が全国的にみてワースト上位にある状況を脱却するため、死者数の4割近くを占める高齢者が、特に夜間における事故が多いことを踏まえ、反射材を用いた高齢者の交通事故防止事業の展開と広報を実施します。

飲んだら乗るな、乗るなら飲むな「ストップ・ザ・飲酒運転」事業【新規】

15百万円

飲酒運転追放に向けて、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」の意識の醸成を図るために、免許取得時の自動車教習所や更新時等の運転免許センター、成年になる前からの意識付けとして高等学校、飲食店など様々な機会・場所で、ビデオ、チラシ等、その場に応じた資料等を活用して指導・啓発を行います。

〔 2 〕 良好な地域コミュニティづくりの推進

自主防災組織緊急設置促進事業【新規】 5百万円
震災時の被害軽減のための役割を果たす自主防災組織の拡充のために、新規設立の組織に対し、初期消火や避難救護などの防災活動に必要な資機材の整備と防災訓練や研修などの活動に助成します。

自助、共助をはぐくむ防災教育推進事業【新規】 15百万円
災害から、自分の命を守り、身近な人を助け、地域を守るために、子どもから大人まで、災害を知り、減災技術を身につけ、災害時に適切な行動をとることができるように、学校・地域・家庭が連携した防災教育を行います。

みんなのちからで行う防犯活動支援事業 20百万円（ 25百万円）
地域住民による自主防犯活動を支援するため、住民自らが企画して行う車輜・徒歩による防犯パトロールや、犯罪発生マップの作成などの防犯活動に対し、市町村、警察、県等が計画策定段階からアドバイスをするとともに、助成します。また、市町村が地域の防犯活動を促進させるために行う事業にも同様に支援します。

防犯アドバイザーによる安全・安心まちづくり推進事業【新規】 2百万円
防犯アドバイザー制度を創設し、防犯対策に知見を有する防犯設備士を防犯アドバイザーに登録して、地域住民、事業者等の防犯講習、防犯診断、防犯相談等に要望に応じて派遣します。

地域安全リーダー育成事業【新規】 1百万円
県民による自主防犯活動の普及・促進と、活動継続の推進役となる人材の育成を図るため、活動の進め方や安全・安心なまちづくりに関する知識の習得の場として「地域安全リーダーパワーアップ講座」を開催します。

地域で守る子どもと高齢者の交通安全推進事業【新規】 5百万円
子どもと高齢者の交通事故は、身近な地域で起きていることから、モデル事業として、地域の住民が、交通安全関係者と連携して計画を立て、その地域の実情に合った交通安全対策を実施します。

〔 3 〕 防犯、交通安全に配慮した環境の整備

防犯に配慮した道路・公園・駐車場、住宅等の構造、設備に関する指針の普及事業 1 百万円 (1 百万円)

指針の周知、普及を促進するとともに、地域住民・市町村・警察等関係機関による合同防犯現地診断を行います。

〔 4 〕 子どもたちの安全確保

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 7 百万円 (4 百万円)

防犯の専門家や警察官OB等をスクールガード・リーダーとして委嘱し、学校の巡回指導と評価、学校安全ボランティア(スクールガード)に対する指導を実施するなど、家庭や地域をはじめ関係機関や団体と一体となった学校安全への取組みを推進します。

子どものちからを育む防犯講話推進事業【新規】 1 百万円

子どもが被害者となる事件の未然防止を図るため、子どもにも分かりやすい紙芝居やビデオを活用し、視覚に訴える擬似体験型の防犯講話を行います。

〔 5 〕 犯罪被害者支援の促進

被害者支援活動の促進事業 8 百万円 (7 百万円)

犯罪被害者等への支援を促進するため、相談及び付添い等の業務を(社)千葉犯罪被害者支援センターに委託します。また、犯罪被害者等への支援の重要性や各種支援内容等を盛り込んだマニュアルを作成し、適切な対応を図ります。さらに、相談窓口を掲載したパンフレットを作成し、情報提供に努めます。

7 みんなでつくる新しい地域社会

〔1〕地域での生活を可能にする福祉のまちづくり

県営住宅を活用した新たな地域づくりモデル事業

5百万円（ 1百万円）

現在、建て替え中の実働県営住宅において、新しい地域社会づくりのモデルを地域の方々とともに考え、そこで必要とする施設や機能の実現に向けた検討を進めます。

マディソンモデルを活用した精神障害者の地域社会への移行モデル事業

26百万円（ 26百万円）

精神科の病院に長期に入院している精神障害者の退院促進を円滑に進めるとともに、新たな長期入院の発生を防止するため、精神障害者を地域で支える仕組みのモデルづくりを行います。

障害者グループホーム等支援事業

70百万円（ 53百万円）

グループホーム・ケアホーム等の入居者や、設置者・世話人等への助言・支援等を実施するため、中核地域生活支援センター等に支援ワーカーを配置します。

障害のある人に対する理解を広げる事業【新規】

12百万円

障害がある人もない人も共に暮らせる地域社会づくりを目指し、障害に関する理解を広げ、差別をなくすための普及啓発等を行います。

子育て地域力強化推進事業

22百万円（ 26百万円）

市町村における子育て地域力を推進するため、地域子育て会議を設置・運営するなど、市町村と地域の多様な子育て支援者・団体が中心となった子育てを支援します。

まっ白い広場（プレーパーク）づくりモデル事業 12百万円（ 13百万円）

既存の与えられた公園等ではなく、子どもたちが想像力を生かし、自分たちの責任で、異年齢の子どもたちとも群れて自由に遊ぶことができる遊び場を、県のモデル事業として推進します。

〔 2 〕 サービス供給、就労支援、経済再生が福祉分野と一体となった地域づくり

あなたに合わせた支援事業 19 百万円 (16 百万円)

地域のニーズに応じて、公的福祉サービス外のサービスを 800 から 1,000 箇所の地域で創出するため、サービス提供事業所の設置に対して助成します。また、取組意欲のある事業者等への相談員の派遣やサービス提供者の養成など事業所創出のための環境を整備します。

障害者の工賃アップのための就労事業を活性化する事業

27 百万円 (18 百万円)

障害者が、地域で経済的に自立した生活を実現するため、千葉県障害者就労事業振興センターの支援を行い、福祉作業所等の収益力等を強化し、障害者賃金等の向上を図ります。

〔 3 〕 自然や風土を活かした健康保養地の形成

多様な個性を活かした質の高い地域づくり総合推進事業【新規】 37 百万円

やる気のある地域が行う創意工夫に富み、洗練された地域づくりを、国・市町村等との連携のもとに多角的に支援します。

〔 4 〕 みんなの知恵と力を合わせいきいきとした農山漁村づくり

みんなで支える千葉県型集落営農支援事業 7 百万円 (7 百万円)

個性的で活力のある地域営農や産地化を実現するため、水稻をはじめ、野菜や果樹、花きなどの産地の育成及び強化、耕畜連携による資源循環型農業の確立など、幅広い視点をもって集落住民が自ら行う集落の将来ビジョンの策定等に対して支援を行い、集落住民の創意工夫による集落営農を推進します。

〔 5 〕 地域づくりの環境整備

「地域住民が主役の地域福祉計画」策定支援事業 5百万円（ 7百万円）
地域住民一人ひとりが主役となった「地域づくり」を加速するため、市町村が策定する「地域福祉計画」の策定経費のうち住民参加の促進に係る経費を助成します。

福祉のまちづくり検討事業【新規】 1百万円
「福祉のまちづくり」のあり方について検討するため、県民参加による作業部会や専門家による委員会を開催します。

団塊シニアの地域活動への参画を支援する事業【新規】 8百万円
団塊の世代及び高齢者等が地域活動等にスムーズに参加できるよう、相談・情報提供や研修事業に取り組むとともに、中小企業団体等と協働で定年前合同研修を実施します。

NPO立県ちばコミュニティファンド（仮称）創設の検討 9百万円（ 1百万円）
地域がNPOを支える視点から、行政に頼らずに、NPOと寄付者（地域）とをマッチング（主に資金的な支援）する仕組みのモデルづくりに取り組みます。

政策研究基礎調査【新規】 5百万円
地域の活性化（定住・交流人口、産業、公共サービス、文化等）に結びつけていくための基礎資料として、環境・健康志向などの新しいライフスタイルの今後の展開やその影響、地域活性化への活用等について調査・分析します。

8 国際化時代の千葉県の確立

〔1〕産業の国際競争力の強化と活動環境の整備

外資系企業誘致事業 10百万円（ 10百万円）

姉妹州県等、海外との協力関係を強化・活用し外国企業の誘致を推進するとともに、既に国内に立地している外資系企業の本県へのビジネス拡大を促進します。

「千葉ブランド」農産物国際化支援事業 16百万円（ 13百万円）

県産農産物や植木の新たな市場をEU・中国・東南アジア等の海外へ展開するため、海外見本市への出展やテスト輸出を行う生産者団体等の取組みを支援します。

〔2〕海外諸国との交流・協力の推進

戦略的国際交流展開事業【新規】 10百万円

重点地域（東アジア、欧州等）への戦略的な国際交流を推進するため、対象地域の実情把握、現地における人脈づくりなどの現地調査を行います。また、国際関係の多様な情報を収集し、県内の国際的な活動を世界に発信する情報ネットワークを構築します。

千葉の国際協力推進事業 6百万円（ 4百万円）

本県の有する人材・技術を活用した国際協力を実施するとともに、国際協力に係る広報・啓発を行います。

〔3〕外国籍県民にも暮らしやすい地域づくり

外国籍県民向けの情報提供体制整備 6百万円（ 5百万円）

外国籍県民が生活必須情報を容易に迅速に入手できるよう、市町村等と連携を図って効果的な情報提供方策を構築し、県ホームページ等による総合的な情報提供や提供経路の拡充に取り組みます。

多文化共生社会づくり推進事業【新規】 6百万円
多文化共生社会の構築に向け、多文化共生推進に係るモデル事業を市町村やNPO等と協働して実施しながら、多文化共生社会づくりの指針を策定します。

人身取引対策に関する海外情報ネットワーク構築事業【新規】 4百万円
人身取引被害者の出身国に捜査官・職員を派遣し、現地の捜査機関、NGO等民間団体と情報交換や意見交換等を行い、被害者の適切な保護・救済を図ります。

人身取引問題に関する社会啓発・広報活動【新規】 1百万円
広く県民を対象に人身取引問題に関する啓発・広報を行い、人身取引被害者の発見と保護の促進を図るとともに、人身取引を許さない社会づくりを推進します。

〔4〕世界で活躍する人材の育成

高校生等の海外派遣及び留学の支援【新規】 3百万円
国際的視野を持った有能な人材を育成するため、高校生のコミュニケーション能力や異文化理解を一層深める海外派遣や留学、受入れを支援します。

幕張インターナショナルスクールの整備推進 1百万円（ 3百万円）
外国人子弟や帰国子女等に良好な教育環境を提供するインターナショナルスクールの整備を推進します。

（特別会計土地造成整備事業）

幕張インターナショナルスクールへの出捐金 4億円